

# O T A K E

12 2020



大竹青年会議所 全会員

活動報告

8月第2例会 9月例会 10月例会 11月例会



# ～1年を振り返って～



## 理事長 網代木 秀太

本年度、「愉」～変えていこう、笑顔あふれる未来へ～をスローガンに掲げさせていただき活動してまいりました。

新型コロナウイルスの影響により、年当初に立てた計画とは少し違う形になりましたが、会員一人一人が少しでもまちのために、今我々にできることは何なのかと一丸となり、熱い想いをもって活動することが出来たと感じます。我々の活動にご理解とご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

単年度制という制度の中、毎年スローガンは変わりますが、先輩方から受け継いだまちをより良くしていこうという熱い想いは変わりません。今後も熱い想いをもって活動してまいります。



## 直前理事長 日野 浩爾

JC活動に失敗はありません。移ろい行く世界で、皆がベストを目指し走り抜く一年は、毎年度が成功であり、最高です。私も自分が理事長をした年は最高だったと自負しています。そして今年度、厳しい状況でも、網代木理事長のもと、今までどおり、最高な一年を協力して創っていく現役会員の姿を間近で見たことに感無量です。楽しかったです。ありがとう。



## 監事 沖野 博志

本年度における大竹青年会議所の事業活動は、コロナ禍の影響により大変制限されてきました。しかし、大竹青年会議所会員はその状況でもどのようにしたら活動が継続できるか考え行動してきました。通常とは違いこの様な不測の状況の中、いかに目的を達成する為に行動を起こすかが会員にはとても大事であったと考えます。困難な状況こそ己の真価が問われます。



## 監事 高橋 央史

今年度は会員の言葉よりも行動に目を向け、職務を遂行してきました。「実践」は、青年経済人・リーダーとして特に必要なことだと感じています。その点において多くの苦言を申し上げましたが、少しでも真意が伝わっていれば幸いです。例年のことですが、私も含め、今一度、年当初の言動と現在に至るまでの行動をしっかりと振り返ることが重要であると思っています。



## 社会開発部門 副理事長 河内 信治

本年度はコロナウイルスという見えない敵との戦いで、対内・対外事業を自粛せざるを得ない状況となりましたが、会員一同が活動を諦めるのではなく、どうやったら出来るかを模索し、形を変えながらも、理事長のスローガンを実現すべく、置かれた状況で愉しく活動でき、大竹青年会議所の志の高さと絆の強さを改めて感じる事ができた1年でした。



## 人間力開発部門 副理事長 廣田 吉則

「強くかつこいリーダー」をテーマに1年間活動させていただきました。今年度はコロナという状況のなか多くの活動が制限されるなか、中野委員長を先頭に新入会員の3名が強くかつこいリーダーの見本となるよう活動をしていただいたことに感謝の気持ちしかありません。本当によく頑張っていたいただきました。彼らの能力が今後さらにこの大竹市に発揮されていくことを期待しております。



## 専務理事 河野 大輔

本年は新型コロナウイルスの影響による多様な計画変更がありましたが、その中でも大竹青年会議所会員は立ち止まることなく活動へ邁進しました。その姿は、正に明るい豊かな社会の実現に向けた姿であったと思います。専務理事としてまだまだ足りない部分がございますが、会として「愉しむ」ことができたと感じております。支えていただきました皆様におかれましては、誠に有り難うございました。

## ふるさと創生委員会 委員長 岩崎 静穂

人とのふれあいを制限され事業を開催することが出来ないときも、私たちは笑顔を忘れず、励まし合い、支え合いながら、沢山の笑顔に会える日を楽しみに準備を進めてまいりました。地域のふれあいこそが未来の笑顔に欠かせないものであると信じ活動を続けてまいります。社会開発部門の委員長を任せただけだったこと、共に過ごしてくれたメンバーに心より感謝いたします。



## ふるさと創生委員会 副委員長 田宮 佑一

まずは、岩崎委員長おつかれ様でした。2020年を振り返り思うことは、会員として、個人としてこの状況で何ができるのか考えさせられました。これまでの当たり前がそうでなくなることに身近に感じました。この一年間の経験を無駄にしないよう活動できるということに感謝して取り組みます。



## ふるさと創生委員会 委員 齊藤 正典

今年度は、岩崎委員長のもと、ふるさと創生委員会委員として頑張っておりました。3回の例会と対外事業の花と笑顔のまちづくりを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により例会は、WEBで行う事が出来ましたが、対外事業は止むを得ず中止になりました。しかし、愉しむ#STAY HOMEの動画作成など地域のためになる事業ができたことがとても嬉しいです。



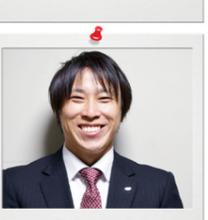
## パーソナルブランディング向上委員会 委員長 中野 友博

1年間を終えて心底やり切ったなど安堵しております。3ヵ月前上程・オール手作り例会・おおたけテイクアウト・8月第2全国公開手作り例会・組織改革など、コロナ渦の中で、言行一致で示したつもりです。また新入会員を預かる部門として、頼れる3人と共に活動できた事を誇りに思います。最高のメンバーでした。本当にありがとうございました。



## パーソナルブランディング向上委員会 委員 栗本 尚明

1月に新入会員として入会し、パーソナルブランディング向上委員会の一員として活動してまいりました。右も左もわからない状況でしたが、同期の存在は大きく、互いに切磋琢磨しながら活動出来ました。また、先輩方はとても頼もしく、愉しむことの大切さ、その姿を見て活動することで、自然と地域社会に貢献したいと思えるようになりました。



## パーソナルブランディング向上委員会 委員 小田 一輝

新入会員として1年間、中野委員長のご指導のもと、青年会議所とは何かを学べました。そして何より、おおたけテイクアウト事業を通して、地元のためになる事業ができたことを誇りに思いました。来年度も青年会議所として動けることの強みを活かし、地元のためになるような事業を立案し、実行できるよう日々精進致しますのでよろしくお願い致します。



## パーソナルブランディング向上委員会 委員 森田 進也

本年度、パーソナルブランディング向上委員会の委員となり、活動してきました。当初は何も分からないことばかりでしたが、先輩方の丁寧なご指導により組織の事が少しずつ分かってきました。毎月の例会を通して自分自身の能力や考え方を把握し、見直すことができる内容がたくさんありましたので、それらを踏まえて今後も活動していきます。



## Fun to UP委員会 委員長 小田上 尚典

今年度は委員長という役を皆様のご協力により努めることが出来ました。正確な情報がどれだけ大切なのか、人々が困難に立ち向かうときに必要なのは一体、何なのかを考えさせられた1年でした。例会では初のWEB例会を担当させて頂き、新年例会や納会ではどれだけ「愉しむ」姿を伝えられるか日々考えることにより、少し成長出来たのではないかと感じております。ありがとうございました。



## Fun to UP委員会 副委員長 前田 利祥

2020年は情報の発信というのが青年会議所や私たちが住む街にとって、とても重要で大切な一年だったと感じました。コロナの影響によって青年会議所活動や、日々の食事、人との関わり方の変化がありました。そんな中でも活動をしていくと決断をした青年会議所という組織の存在を知った一年でした。



# ～ 例会報告 ～

## 8月第2例会 担当：パーソナルブランディング向上委員会

【発信力～伝えるではなく伝わる力をアップデートせよ～】というテーマでパーソナルブランディング向上委員会が担当いたしました。

本例会では大竹青年会議所だけでなく一般参加者を対象に公開例会として行われました。ZOOMを介することで日本各地からご参加いただきました。会員は大竹青年会議所という枠組みの中で、自身の役割や、課題を認識し、周囲の人間を巻き込みながら、様々な事業を展開していくことが必要と考え、発信することの重要性、伝えると伝わるの違いについて認識することで、他者をより意識し、自身の価値に対する考察を深める内容となりました。



## 9月例会 担当：ふるさと創生委員会

9月例会はふるさと創生委員会が担当しました。

本例会ではコミュニティーデザイナー内海慎一氏を講師としてお迎えし、大竹市を「笑顔あふれるまち」にするため、地域の方々と協力し合いながらまちづくりへの取り組みを続けることがまちの未来を守っていく『活力あるコミュニティーを継続させることの重要性』についてお話をいただきました。

大竹市を「笑顔あふれる住み続けたいまち」にするため、地域の方とどのように取り組んでいく必要があるか学ぶことができました。



## 10月ブロック会長公式訪問例会 担当：三役会

我々が逆境にあらずとも高い志を持ち続け、活動に更なる弾みをつけるためにも、同志との活動に対するモチベーションを上げ、今ある強い結束力をより強固なものにする場が必要という思いから三役会担当の例会が行われました。

中国地区広島ブロック協議会 田中会長をはじめとする役員の方々をお招きして、チームビルディングの概要と必要性、タックマンモデルのチーム成長のプロセスについて学び、青年会議所のチーム力を向上させることを目的とした例会が行われました。



## 11月例会 担当：パーソナルブランディング向上委員会

パーソナルブランディング向上委員会が担当した例会では、周りを巻き込む力の重要性を理解することを目的として行われました。

青年会議所という組織の中で、時代の流れに柔軟に対応できる魅力溢れるリーダーとなる為に、【周囲の人間を巻き込む力】をテーマにマシュマロチャレンジやその後のワークショップを通して組織内にいる他会員とのコミュニケーションを再定義し、ベストパフォーマンスが発揮できる協働組織へと変貌していく為の意識を共有する機会となりました。



皆様のご支援を賜り、理事長の掲げる「愉」～変えていこう、笑顔あふれる未来へ～のスローガンのもと、活動を行うことができました。誠にありがとうございます。

来年度も引き続き、大竹青年会議所会員をよろしくお願いいたします。



[www.otakejcc.com/](http://www.otakejcc.com/)

大竹青年会議所

検索

